

緑化推進によるまちづくりの提言

宮城 力弘（みどり21）



菊川市のまちの将来像「みどりとときめきたしかな未来 菊川市」について、第2次菊川市総合計画など各種計画のなかで緑化まちづくり計画が挙げられているが具体的な取組について提言する。

Q 河川菊川の菊川東中学校からアエルまでの左岸に桜の植樹を行い、菊川市の桜の名所とする。ジョギング、散歩コース、桜まつり等を行い市民の憩いの場とする。とともに、河川菊川の景観と自然豊かな菊川市の知名度アップを図る考えは。

A 河川管理者である国土交通省と植樹のできる場所や方法を協議している。市民のジョギングや散歩コースなど市民の憩いの場や景観、本市の知名度アップに繋がるよう協議する。また、菊川かわまちまちづくり計画との連携を検討する。

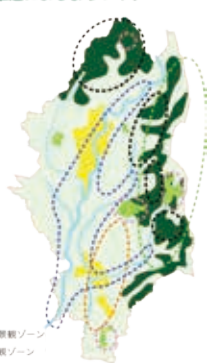
Q 各種の計画にあるみどりのまちづくりに関する事業を「みどりのゾーン分け」を指標とし、確実な遂行を。

A 各種計画に位置付けられる緑化推進や緑地保全等について、それぞれの部署が取り組んでいる。各種計画の見直し時には、提言にある「みどりのゾーン分け」を参考に事業を検討する。

Q 市内公園は59施設あり、課題を抱えている。課題を整理し、今後の方針等踏まえ解決策の研究・実践を。

A 管理に苦慮しているが、日々維持修繕に努めている。遊具については、引き続き修繕などの対応をしていく。トイレのユニバーサル化、照明のLED化に努める。他に「平川地区の洪水対策」について質問しました。

緑化推進によるまちづくり



- 市街地のみどりともえぎ色の景観ゾーン
- 田園のみどりと黄金色の景観ゾーン
- 河川と水・みどりの景観ゾーン
- 自然公園緑地帯ゾーン
- 森林の新緑環境ゾーン

学びの庭構想と地域コミュニティ

小林 博文（市民ネット）



「学びの庭」構想が令和3年度から菊川東、西中学校区でも実施される。構想の進め方について質問する。

Q 小中一貫教育で中学校卒業までの系統性・連続性のある教育が期待できる反面、各小学校の独自性が薄れる懸念があるが、どう整合性を図るのか。

A 各学校では、学舎の教育目標を念頭にしつつ、地域の特性を活かした教育の進め方を計画する。岳洋学舎でも、共通して実施する部分と創意工夫に委ねる部分を話し合い、進めている。

Q 校長・教員の異動による交代時、誰がイニシアティブをとるのか。

A 学舎内校長会が共有の教育目標を中心に据え、各校長が運営にあたる。

Q 今回のコロナ禍で浮き彫りになった課題は何か。また、その対応策は。

A 複数の学校が協働して行う行事や会議、外部の人材を招いて行う学習等が中止となったが、オン

ライン会議が進み、新しい発想も生まれた。

Q 菊川東、西学区では、小中学校区が統一されていない。児童への対応と、こうした地域への対応策を伺う。

A 合同行事を二つの学舎が同時に開催する等工夫する。令和4年度に予定している、菊川市小中一貫教育の在り方検討会で、地域の意見を伺い、丁寧に協議を進める。

Q 地域と家庭、地域と学校、二組の関係について行政として繋がりを深める施策の進め方を伺う。

A 学びの庭構想の根幹の一つ。横の連携を深めていくことであり、岳洋学舎で始まっている。

